

事務局所在地

〒一九二一〇三九三

東京都八王子市東中野七四二一

中央大学文学部 土橋研究室

編集後記

宮本久雄新会長のもと、新たな運営委員・幹事も加わり、厳しい会計事情の中ではありますが、おかげさまで本誌第十二号の発行が可能となりました。関係者の方々に御礼を申し上げます。

今号には、研究例会の発表をもとにした論文のほか、ポーリン・アレン教授の講演と加藤信朗氏著書の書評会の記録を載録いたしました。アレン教授は二〇〇七年まで国際教父学会の会長を務められ、中央大学国際交流センターの招きに応じて来日されました。講演会は中央大学と当研究会との共催で行われました。また、書評会の記録として総評と三人の特定質問者の原稿を掲載しております。なお、当日の討論の記録につきましては、次号に活かしたいと考えております。

本誌十二号の発行にあたって、引続き新世社の中山訓男氏のご協力を得られましたことをご報告申し上げます。現下の厳しい出版状況の中で、中山訓男氏の教父研究会に対する深いご理解とご協力を深く感謝申し上げます。次号の次第です。

(編集担当幹事・田子多津子)